

暑い季節にピッタリ！

エダマメ収穫最盛期！

【7月上旬／碧南市内で収穫風景を紹介します】

JAあいち中央碧南エダマメ研究会が栽培するエダマメの出荷が、7月上旬から最盛期を迎えます。

県内には、清須市や稲沢市などにエダマメの産地がありますが、県内全体としては減少傾向にあり、30年前と比べると約半分の生産量となってきています。そういった現状に歯止めをかけるべく、碧南市では2015年から研究会を発足し、栽培面積が徐々に増えています。碧南の土壤に適した品種の選定や播種時期を生産者とともに行っています。

今年は播種後の天候に恵まれ、適度な雨もあったことから順調に生育し、品質も良好です。



収穫したエダマメを脱莢機にかける生産者

鮮度の高いエダマメを届けるために

エダマメは温度変化によるストレスで劣化が生じるため、収穫は朝5時頃から手早く行われます。収穫したエダマメは脱莢機にかけられ、水洗い、選別され、段ボール（4キロ／箱）に詰められます。研究会では、消費者へ鮮度の高いエダマメを届けるために、予冷したものを出荷しています。

JAあいち中央碧南エダマメ研究会

会 員：4人

栽培面積：約71アール

出荷時期：6月下旬～7月下旬

最盛期：7月上旬～下旬

総出荷量：約5.8トン（2023年度見込み）

流通先：主に県内の市場を通じ、大手量販店で販売



<メディア対応日>

日 時：2023年7月上旬

集合場所：未定

※取材当日はエダマメ圃場で収穫作業、作業場で脱莢作業を撮影いただけます。

※天候や作業状況により、日時・場所が変更になる場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

JAあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL：0566-73-5504／携帯（高瀬）：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp